学校番号	T3009

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	建築計画	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	建築計画(実教出版)						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築物は様々な物事との調和を考えて建設されます。その計画には、国や文化の歴史、自然環境が建築物に与える影響などを考慮しなければなりません。どのような建築物を求められているのかを理解するために、建築物の種類について学習しましょう。

２　学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，建築物の計画に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技術】建築物の計画について住空間の快適性やエネルギーを踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】建築物の計画に関する課題を発見し，技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】安全で快適な建築物を計画する力の向上を目指して自ら学び，建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築の歴史について変遷や建築様式の特徴を踏まえて理解する。 建築の設備について各設備の機能を踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付ける。	歴史的・文化的背景などに着目して，建築の歴史に関する課題を見いだすとともに、解決策を考え，科学的な根拠に基づき結果を検証し改善する。 住空間の快適性や省エネルギーなどに着目して，建築の設備に関する課題を見いだすとともに解決策を考え，科学的な根拠に基づき結果を検証し改善する。	建築の歴史について自ら学び，安全で快適な建築物の計画に主体的かつ協働的に取り組む。 建築の設備について自ら学び，安全で快適な建築物の計画に主体的かつ協働的に取り組む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本の建築	1　住宅建築 2　宗教建築 3　都市	a:日本の原始から近世にいたるまでの住宅や宗教建築、都市の移り変わりなどをはじめ、現代の建築物に受け継がれている建築の基本的な考え方などを理解している。 b:日本の原始から近世にいたるまでの住宅や宗教建築、都市の移り変わりなどをはじめ、現代の建築物に受け継がれている建築の基本的な考え方などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 c:日本の原始から近世にいたるまでの住宅や宗教建築、都市の移り変わりなどに関心をもち、現代の建築物に受け継がれている建築の基本的な考え方などの理解に意欲的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	西洋の建築	1　古代の建築 2　中世の建築 3　近世の建築	a:西洋の古代から近世にいたるまでの代表的な地域・時代の建築物の移り変わりなどをはじめ、その移り変わりから、どのような要素が、また、どのような建築物をつくり出したのかなどを理解している。 b:西洋の古代から近世にいたるまでの代表的な地域・時代の建築物の移り変わりなどをはじめ、その移り変わりから、どのような要素が、また、どのような建築物をつくり出したのかなどについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 c:西洋の古代から近世にいたるまでの代表的な地域・時代の建築物の移り変わりなどに関心をもち、その移り変わりから、どのような要素が、また、どのような建築物をつくり出したのかの理解などに意欲的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	近代の建築	1　ヨーロッパの近代建築 2　アメリカ合衆国の近代の建築 3　日本の近代建築	a:産業革命以後の西洋および日本における近代建築のつくり出されてきた過程などをはじめ、近代建築がどのような建築理念に基づいてつくり出され、どのような変遷をとげたのかなどを理解している。 b:産業革命以後の西洋および日本における近代建築のつくり出されてきた過程などをはじめ、近代建築がどのような建築理念に基づいてつくり出され、どのような変遷をとげたのかなどについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 c:産業革命以後の西洋および日本における近代建築のつくり出されてきた過程などに関心をもち、近代建築がどのような建築理念に基づいてつくり出され、どのような変遷をとげたのかの理解などに意欲的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	現代の建築	1　世界の現代建築 2　日本の現代建築	a:戦後の世界および日本における建築物の発展過程をはじめ、建築計画への応用をはじめ、現代の建築は、どのような要求と必然性から生み出されてきたのかなどを理解している。 b:戦後の世界および日本における建築物の発展過程をはじめ、建築計画への応用をはじめ、現代の建築は、どのような要求と必然性から生み出されてきたのかなどについて	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

前期			思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 c:戦後の世界および日本における建築物の発展過程をはじめ、建築計画への応用に関心をもち、現代の建築は、どのような要求と必然性から生み出されてきたかなどの理解に意欲的に取り組んでいる。			
後期	給排水・衛生設備	1　給水設備 2　給湯設備 3　排水設備 4　浄化槽 5　雨水利用・排水再利用 6　ガス設備	a:建築設備の目的・内容や設備計画を行うにあたっての基本事項、給排水・衛生設備、浄化槽、ガス設備などをはじめ、これらの計画の方法などを理解している。 b:建築設備の目的・内容や設備計画を行うにあたっての基本事項、給排水・衛生設備、浄化槽、ガス設備などをはじめ、これらの計画の方法などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 c:建築設備の目的・内容や設備計画を行うにあたっての基本事項、給排水・衛生設備、浄化槽、ガス設備などに関心をもち、これらの計画の方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	空気調和・換気設備	1　空気調和設備 2　換気設備	a:空気調和設備や暖房・換気設備などをはじめ、これらの計画の方法などを理解している。 b:空気調和設備や暖房・換気設備などをはじめ、これらの計画の方法などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 c:空気調和設備をはじめ、暖房・換気設備などに関心をもち、これらの計画の方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	電気設備	1　電力設備 2　照明設備 3　通信設備 4　防犯設備	a:電気の供給方式，各種の通信設備など，電気や通信に関わる設備の概要について理解している。 b:電気の供給方式，各種の通信設備など，電気や通信に関わる設備について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 c:電気の供給方式，各種の通信設備など，電気や通信に関わる設備などに関心をもち、これらの計画の方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
後期	防災設備	1　消火設備 2　警報設備 3　避難設備 4　避雷設備	a:消火設備や警報・避難・避雷設備などの基本的な事項をはじめ、これらの計画の方法などを理解している。 b:消火設備や警報・避難・避雷設備などの基本的な事項をはじめ、これらの計画の方法などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 c:消火設備をはじめ、警報・避難・避雷設備などの基本的な事項に関心をもち、これらの計画の方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度